

# ジョブマネに400万円

## 琉銀ファンドと公庫 協調出資



増資したジョブマネの小林代表（中央）と出資したBORベンチャーファンドと沖縄振興開発金融公庫の関係者ら11月3日、那覇市の琉球銀行本店

琉球銀行（川上康頭取）が設立した「BORベンチャー

ファンド」と沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は3日、中小企業向けのクラウドシステムを企画開発するジョブマネ（那覇市、小林康裕代表）に1998万円ずつ出資したと発表した。ジョブマネは、インターネット上での広告宣伝やシステム開発のためのエンジニアの増員、問い合わせに対応する従業員の増員などに充てる。

同ファンドと沖縄公庫が共に出資するのは初めて。増資は11月末に実行し、資本金は5296万円となった。ジョブマネは2017年10

月の設立。顧客情報や見積書のデータベース化、業務日報や請求書の作成が一つのシステム内で完結するクラウドサービスを展開している。同じ情報を複数のシステムに入力しないで済むため、労働時間を短縮できる。

同社は来年10月までに100社以上との契約を目標にしている。従業員は、現在の7人態勢を5年後に30人以上へ増やす計画。

小林代表は「21年には日系企業など向けにアジアでも展開できるように、多言語、多通貨対応を進めたい」と話している。

同社は琉銀と沖縄タイムス社のベンチャー支援「オキナワ・スタートアップ・プログラム」にも採択されている。

# ジョブマネに協調出資

## 琉銀と公庫が初、4000万 販売、開発体制強化へ

琉球銀行（川上康頭取）と沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は3日、協調して中小企業向けのマネジメントシステムを提供するジョブマネ（那覇市、小林康裕社長）に出資したと発表した。出資額はそれぞれ約2千万円。ジョブマネは販売体制や開発体制などの強化に取り組むとして

いる。

琉銀は、ベンチャー企業を支援するBORベンチャーファンド（りゅうぎん総合研究所運営）を活用して出資する。沖縄公庫は新事業創出促進出資制度に基づき出資する。両者が協調して出資するのは初めて。BORは上限金額が3千万円と定められている。沖縄公庫の制度も新事業に必要な資本額の50%以内を限度額とするため、協調出資することで必要額の約4千万円を満たした。

ジョブマネは2017年10月に設立。中小、ベンチャー企業をターゲットに、グループウェアや営業支援システム、基幹系情報システムを一体化したクラウド型システムを提供している。進行中の業務や売り上げ履歴などがすぐに閲覧できるなど、業務効率の向上に役立つという。小林社長は「長時間労働の改善にもつなげられる」と話した。